

## 令和3年度のスタートにあたって

昨日、無事に令和3年度の始業式を行いました。

昨年の中頃は、「学校なのに、生徒が誰もいない」という、まさに「非常事態」の真只中でした。怖い程静かな学校の中で、先生方は「どのように生徒の状況を確認するか」「臨時休業後の授業や行事をいつ・どのように行うか」など、週に何度も会議を重ね、シミュレーションしていました。

1年経った今でも、新型コロナウイルスの脅威が無くなってはいません。しかも、第4波の到来を予感させる状況にもなっています。

こうした状況の中で、いよいよ、新年度がスタートします。言い換えれば、学校の新たな1年を創り上げていく動きが始まります。

始業式の式辞の中で「自分に問うこと」「他者と関わること」の2点を話しました。これは、2・3年生には昨年来少しずつ、1年生には入学式で話した内容と重なります。

大人を目前にした高校生として、加えて、学校という社会を自分たちで創り上げていく主役として考えを拡げ、深め、そのもとで充実した生活を送って欲しいとの願いを込めました。

新型コロナウイルスの影響に十分注意しながらも、いきいきと生きる。

自分の中にある、これまで自分でも知らなかった考えや価値観に気づき、そんな生徒同士が連携しながら、共に新たな一歩を踏み出して欲しいと思っています。

令和3年4月8日

校長 森 也寸司

